

学力を支える地域、育む家庭、伸ばす学校



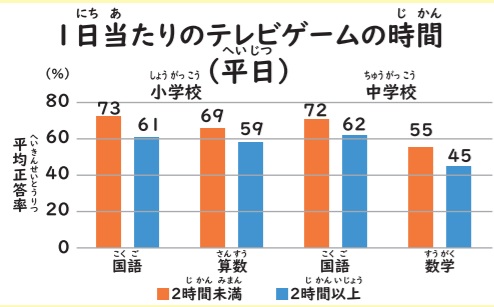
今、子どもたちは、変化の激しい時代を生きています。子どもたちには、自らの可能性を發揮し、他者との絆を大切にしながら、失敗を恐れず夢と志をもって挑戦し、豊かな未来を切り拓く力が求められています。学校・家庭・地域がそれぞれの役割を認識し、教育力を高めながら一体となって子どもたちに「未来を切り拓く力」を育てていきましょう。

全国学力・学習状況調査の学力と相関関係があった項目はこちら→
「保護者の働きかけがある子どもの学力は高い」という傾向があります。



※以下のグラフは、令和4年度全国学力・学習状況調査の「児童生徒質問紙調査」において、学力との相関関係が見られた項目のグラフです。(数字は各教科の平均正答率)

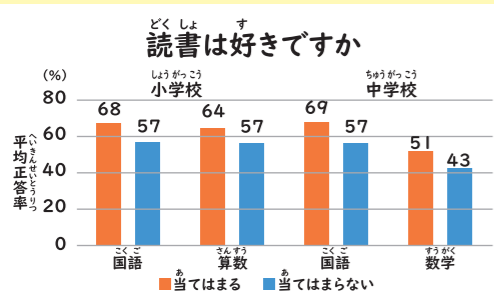
家庭 家族で語らう時間づくり 家庭学習・読書の習慣づくり



学力と「テレビゲームなどをしている時間」には関係があります。各家庭で、ルールを話し合ったり、守れているかどうかを確認したりすることが大切です。

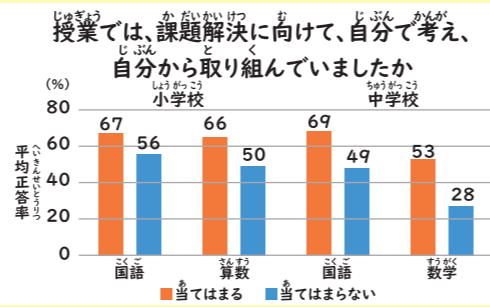


学力と「家庭学習をする時間」には関係があります。時刻や場所を決めて、毎日取り組み、子どもたちの意欲やがんばりを認める声かけが重要です。

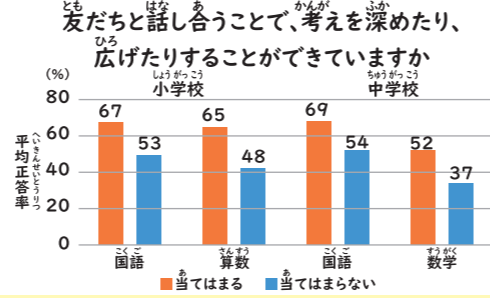


学力と「本や新聞を読むこと」には関係があります。家読(うちどく)の日を決めて、みんなで本を読んだり、読んだ本について話したり、家族で読書を楽しんでみてください。

学校 学ぶことの意義を感じられる授業づくり 安全で安心できる学級・学校づくり



子どもたちが課題の解決に向けて、主体的に考えをもてるよう、授業では、「興味・関心を喚起する課題や発問」、「考えをもつ時間の充実」に取り組むことが大切です。



子どもたちが主体的に自分の考えを伝え合い、考えを広げ、深めるために、授業では「伝え合う時間」の充実を図る必要があります。



子どもたちは話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができます。そのためには、子どもたちが安心できる学級・学校づくりが大切です。

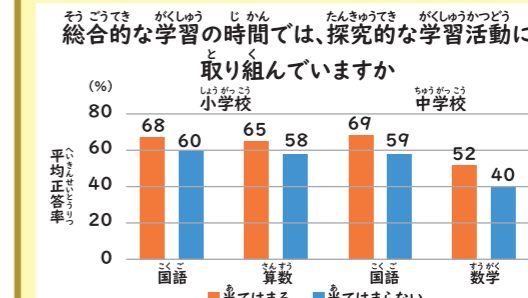
地域 持続可能な社会の創り手づくり 就学前・異校種間の連携づくり



松阪の子どもたちは、地域の行事に参加したり、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたりすることが全国と比べて高い傾向にあります。



「未来を切り拓く力」の育成には、学びの連続性や子どもたちと地域・社会とのつながりが重要です。地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを進める必要があります。



総合的な学習の時間など、子どもたちが地域の産業や文化等を学び、社会の一員としての自覚が高まるよう、子どもたちへの関わりをお願いします。

子どもたちにとって、「学校」「家庭」「地域」は、一人ひとりが大切にされ、楽しく関わらう中で、存在感や自己実現の喜びを実感しつつ、「未来を切り拓く力」を身に付けていく場です。学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもたちの「未来(あす)」を育てていきましょう。

令和4年度松阪市学力向上推進協議会

5つのチャレンジ応援サイト

【子どもたちへ】

QRコードをタブレット等で読み込み、夢に向かってやってみよう!と思ったチャレンジに取り組んでみましょう!

【地域・保護者のみなさんへ】

子どもたちのチャレンジの応援の参考にしてください。QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

5つのチャレンジ応援サイト



例えば、【生活習慣を確立する】のページでは、
・3つの時間
・タブレットの使い方
・スマホのルール
などの参考資料を見ることができます。

5つのチャレンジ応援サイト

